

タイトル『思考の整理学』

』

著者：外山滋比古

出版社：筑摩書房

この『思考の整理学』は私たちに新しい視点を
与えてくれます。この本の話の一つ取り上げて紹介します。
タイトルは「グライダー」でもこの話の内容を説明すると、
学校の生徒は独学で学ぶのではない。生徒はグライ
ダーのようなもの。しかし、グライダーは自分では飛べない。
そこで飛行機のエンジンをつた、自分で飛べるようにする。
グライダーだけに専念するのではなく、両立して技術を磨けて
いかないと、グライダーの技術者に特化したコンピューターに
仕事をばあれるという話でも何が言いたいのかというと、
何かを覚える行動だけでなく、自分で何かを作り出し
ていく、何かを自分で考えるという行動力をしていかなないと
AIなどに仕事を取られてしまうことです。最近では生成AI
も出てきて、何かを作り出す仕事さえ取られる可能性があります。
ただ覚える行動しかしていないと絶対に仕事を取られます。このように
この本は私たちに新しい視点を与えてくれます。ぜひ読んでみてください。

投稿日 2025 年 11 月 14 日

ペンネーム（本名は書かないでね！）

木公島

年齢

14

仙台市 市民図書館 YAコーナー